

## 分科会 D 総合型地域スポーツクラブとコミュニティづくり

コーディネーター 森川貞夫 東京都・日本体育大学教授・体育社会学研究室

1. 発表者 中平稔人 福岡県教育庁教育振興部スポーツ健康課

€ いま、子どもを取り巻くスポーツ環境は？

- ◆ 低下傾向を示す体力・運動能力の低下傾向
- ◆ スポーツとの関わり 二極化傾向
  - ・やらない子ども・・・失われた子どもたちの遊びや運動の機会
  - ・やっている子ども・・・勝利へのこだわり
    - スポーツ好きな子      スポーツ嫌いな子（二極に分かれる）
- ◆ 運動部活動の危機
  - 部活動の休・廃部の増加      ・・・      少子化や指導者不足が原因
  - しかし、地域には子どもがスポーツできる場がない。

€ スポーツへの関わりは

小・中・高生で部活動をした子どもは、大人になってもスポーツを続ける傾向がある。  
 大人のスポーツ活動には、子ども時代のスポーツ経験が大きく影響を与える。  
 スポーツをやりたいが、今はやっていない人約 4 割...理由は時間がない  
 スポーツをやりたい人がやれる場を

€ 課題を解決するために

総合型地域スポーツクラブ  
3つの多様性

多目的型クラブ	種目	多
多世代型クラブ	年齢層	様
多指向型クラブ	レベル	性

多くの人がスポーツで  
きる仕組みづくりを

未実施者を実施者へ  
環境整備      イベント・施設・仲間・指導者・情報  
子どもたちのスポーツニーズに対応      重要課題

€ 福岡県がめざす総合型地域スポーツクラブとは 行政がクラブ設立をサポート  
 これまでスポーツをやりたいけれどやれなかった人が、誰とでも・いっしょに・気軽に・  
 いろんなプログラムで楽しむことができるクラブ。      コミュニティへ  
 今後は・・・  
 地域の大人が、休・廃部の部活動や地域でのスポーツ活動を支援する仕組みに発展してい  
 く可能性がある。      期待される効果

## 2. 発表者 田上洋介 長野県木曽郡上松町教育委員会教育次長

### 地域の子どもの教育環境と住民の願い

郷土の子どもが地域に根ざし、できれば地域に残ってほしい...親や周りの願い

核家族、少子化など教育環境が変化している。物への執着はあるが、人間関係の関わりが希薄化している。地域風土の智恵が枯渇している。

家庭教育力も弱まっている。母がPTA活動を担い、父親は子どもの友人すら知らない、先生の顔すら知らない。子どもの規範をスポーツの指導者に求めている母もいる。「父性」「母性」をきちんと捉えていく必要がある。

平成11年度、「ゆうゆうクラブ」を設立するための機関「木曽ひのきっ子ゆうゆう会議」を開き、子どもに関わる35団体が集まり、スポーツ環境を整えていくことを協議した。平成13年度、総合型地域スポーツクラブ「木曽ひのきっ子ゆうゆうクラブ」を設立した。

### 「木曽ひのきっ子ゆうゆうクラブ」の構想と方針

**ワクワクした感性を持ってもらおう** キーワード

子どもに自然を体感する外遊び・昔遊びやネイチャーゲーム・ベーシック運動（大人：ウォーキング、子ども：ゆるゆる体操）を大切にして取り組む。

#### € 低年齢期のベーシック運動の大切さ

運動機能は、3歳から8歳までに徹底したベーシック運動（這う・転ぶ・逆立ちなど）することにかかっている。この時期に運動しないと、大人になってスポーツ嫌いになる。

#### € 「学社融合」との出会い・・・

学校を絆として、地域の人に参加してもらえば総合型地域スポーツクラブができる

いつでも・どこでも・だれもが・いつまでも・何でも学ぶ・ワクワクする **遊び心**

家庭教育      学校教育      社会教育の融合

#### € 学社融合の具体的な施策として

放課後 学校の空き教室 月曜から金曜 ... 昔遊び・竹遊びなどをお年寄りが教える

家庭でお母さんにも教えてあげて（家庭へ返し、家庭を子育ての場にする）

中学生のクラブ加入率99.9% ... 義務感ではなくワクワクを楽しくやろう。

#### € 部活動3・3体制の導入

上松町の部活動は、先生の指導力、負担感などを考えて、時間で区切る3・3体制で対応している。時間帯を3つに区切り、指導は「先生」「先生と社会教育指導者の合同」「社会教育指導者のみ、先生は名前だけ」の3種類とした。5：45まで部活、6：00以降は、教師も社会教育指導員として登録してやっている。7：00以降は、保護者会などで夕食を準備、学校できちんととって総合型クラブ」で対応している。

#### € ワクワクした感性は、指導員から

やりたい人が集まって、体育指導員自らがワクワクした感性をもち、遊び心でやること

自分たちで企画・立案      みんなで作っていけるという思いとなる

## 3. 発表者 嶋村清一 習志野ベイサイドスポーツクラブ運営委員長

### € 習志野ベイサイドスポーツクラブとは（ビデオより）

いつでも、だれでも、いつまでも スポーツを楽しくできる環境を地域の中につくっていかうという意図でつくられた。

スポーツを通じて、子どもからお年寄り、初心者から上級者まで、誰でもいつでも楽しくふれあうことができるところ。

一番の目的は健康づくり。運営も指導者もボランティア。

近所づきあいにもなる、楽しい、子どもと一緒にでき、地域の子どもの顔を覚える。町で会ってもあいさつをしあう関係性が生まれている。これからも多くの人に広げていきたい。

### € クラブ設立の経緯

1999年、北九州の先進スポーツクラブを視察した。どういうものを取り入れたら会員に喜ばれるのか。体育指導員を中心に総合型地域スポーツクラブをつくるための設置委員会を立ち上げた。小学校区にあった既存のサッカー・卓球等のクラブからも賛同を得た。市からの要請により中学校区でつくる。設立段階では、約300名、現在700名近い参加者がある。行政から場（3つの小学校・1つの中学校・多目的広場）を優先的に貸してもらった。

既存のクラブはそのまま、疎外感を与えず、参加要請もしない。地域にない新しい種目の女子サッカー・グランドゴルフ・健康体操などを実施してみた。夜間、学校開放しているうちに自然に人が集まってきた。

お母さんがサッカーなどをしているうちに、子どもたちは、別の種目で指導者について学ぶいい環境ができた。

### € 課題

小学生、女性の参加が多いが、中学生から高校生がいないのが問題点である。市へ要請して多目的広場に予算をつけてもらってナイター設備を作ってもらえるようになった。今後、中学生のサッカー・ソフトボールなどの取り組みが始まるのでは・・・。

現在、受益者負担の自主運営であるため、財源確保が課題である。サッカーくじ（toto）が、全国22の総合型スポーツクラブの活動に対して、年間100万円、5年間助成してくれるので申請している。

今後、指導者やコーチなどを呼んで研修会を開き、スポーツに関する勉強をしていきたい。

## 4. 発表者 田中理恵子 福岡市主婦卓球愛好会

### € 現状

福岡市は1小学校区に1公民館がある。福岡市主婦卓球愛好会は、公民館のスポーツ教室の後にできた卓球サークルで、公民館（社会教育施設）で育ったスポーツ団体というのが特徴。会員は、26歳から87歳まで、現在約1000名。

発足当時、いつでもどこでも誰もが楽しめる活動ができないものだろうかと競技性から離れた活動を模索し、社会教育法・スポーツ振興法を学習した。

発足して30年を支えてきた愛好会の主旨8か条は、20年前につくられた。

### 愛好会の主旨8か条

- } 誰からも強制されることなく目的を持ち
- } いつでも、誰でも、上手下手なく、楽しい仲間づくりを心掛け
- } 勝つことだけを目標とせず、上手になるための努力もし
- } 技術の格差で人間の価値を判断することなく
- } 一人ひとりの権利を認め、思いやり考えあうことの大事さを話し合い
- } みんなで決めた事はみんなで守り
- } 協力して健康で明るいスポーツ活動を地域に広め
- } 人と人との結びつきが豊かに生きる喜びとなるよう

私自身、関東からきたが、このサークルを通して地域に解けこみ、サークルの託児により子どもも地域で育ててもらった。また、研修会や技術講習会から社会教育などを学んだ。PTA活動からさらに地域へ、卓球というスポーツを通して初心者から高齢者が関わる場づくりを広げている。

### € 課題

会員は、公民館との関わりを持ちつづけているので、単独の育児サークルも既存サークルとともに活動し、子育ては若い人だけでなく、みんなで育てる地域社会になればいいと考えている。

地域にはたくさんの定年退職後の方(男性)がいるが卓球は、健康維持・リハビリも含め、多くの人を取り掛かりやすいスポーツである。今後、男性を含め、みんな一緒に関われる団体でありたいと思っている。

## 参加者からの質問

Q. 設立するまでに中・高校生の参加は、あったか？（習志野ベイサイドスポーツクラブへ）部活等で、時間がなくて参加がない。

Q. 年代の上の方で設立された事例が多いようだが、若い人をどう取り込むか？

- ・若い人の意見反映の仕組みがあればよかった。
- ・田川市では、近くの大学を活用（施設・指導者）し、学生を運営委員会にいれて若い人の考えも入れている。また、保育科の学生が託児を担当している。

Q. 地域でスポーツクラブを作るエリアは？

コミュニティ（地域の関わり）としてのエリアは、小学校区。施設面の充実では、中学校区。地域差があるので一概には言いにくい。